

剣之宇都太陽の子自己評価表（職員用）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善点・工夫している点など
環境 ・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。		4		プレイルームとコンテナ室が離れているため支援員が分散してしまうことがあるが、必ずスタッフ間で連携し、見守り強化に努める。
	②	職員の配置数は適切であるか。		2	2	子どもの関係性や体調によって、定数では足りないと感じることもあるので、小グループにして、見守り易い、環境を整えていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。			4	コンテナ室の出入口がフラットになっていなく、雨が降ると滑りやすく転倒の恐れがある。今後、板を設置するなど、改善に取り組みたい。
業務改善	④	支援改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2		子どもの実態を考えつつ支援への糸口を探りつつ、以前より、職員の情報共有に努めている。
	⑤	保護者向け評価表等を活用する等によりアンケート調査を実施して、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	2	2		定期的に保護者アンケートを行って、その結果を業務に反映しようとしている。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか。		4		今後、HPを利用し、公開していく予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	2	定期的な県の監査を受けたり、相談支援員に支援の実際や施設を見てもらったりすることはあるが、公の機関による評価は受けていない。 県に確認したところ、第三者による評価は受ける義務はないとのことを受けていないが、受けることが望ましいと考えるので、今後、県の第三者評価調査者名簿を参考に受けることを検討していきたい。
	⑧	職員の資質向上のために、研修の機会を確保しているか。	2	2		積極的に、研修会への参加を心がけていきたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	2		支援に得た情報の共有を密にし、計画に反映できるようしたい。
	⑩	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	2	2		アセスメントツールは無いが、日々、職員の情報共有を行うようにしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			平日の支援前に、スタッフで昼礼(打合せ)を行い、活動や子どもについての情報共有をしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		4		曜日や子どもによって、活動がパターン化されていることがあるので、活動に工夫をしていきたい。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を細やかに設定して支援しているか。	1	3		平日は、個別に合わせた課題や支援の工夫を話し合い、スタッフ間の連携を図っている。休日・長期休みは児発管の指示のもと、課題を設定し、活動に取り組んでいる。

	⑭	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動計画を作成しているか。	2	2		子どもの関係性や体調に応じて活動を計画している。
	⑮	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	4			昼礼を通して確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			支援終了後ではなく、前日の振り返りとしても、翌日の昼礼を利用している。
	⑰	日々の支援に関して記録を正しくとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	2		日々の支援の記録は欠かさずに行っている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	2	2		定期的なモニタリングや昼礼等で情報共有し、支援計画の見直しを図っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか。		4		ガイドラインの読み合わせは、定期的に行っている。
関係機関 や保護者との 連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	2	2		事業所内でモニタリングを行い、支援についての代表者が参画している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	2	2		各学校と連携し対応している。また、子どもの様子について送迎時に情報交換を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子供の主治医と連絡体制を整えているか。	1	3		事前に保護者様と情報交換し、連絡体制のマニュアルを作成している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有・相互理解に努めているか。		4		現在低学年の新規契約者がいないが、今後必要であるならば、情報交換を図りたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3		必要に応じて相談支援事業所より、情報提供の場を設定してもらい、参加している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2	2		積極的に研修会に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子供と活動する機会があるか。	2	2		昨年度から地域のふれあいスポーツの参加し、交流をしている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		4		参加する権限がないので参加していないが、関係するアンケート等の協力などの間接的な参加はしている。 霧島市の事業所連絡会には毎回参加している。
	㉘	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解をもっているか。		4		少しでも情報の共有を図ろうと努力している。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。		4		事業所内研修通して、ペアレントトレーニングについて理解を深めようとしている。
保護者への説明責任等	㉑	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2		契約時に読み合わせをしている。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	2		児発菅を中心に対応し対応している。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりすることにより、保護者同士の連携を支援しているか。	2	2		今年度は6月に保護者会を開催し、充実した内容を行えた。
	㉔	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	2		苦情対応のスタッフを中心に連絡体制を整え、迅速に対応するよう心掛けている。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか。	2	2		HPや月1回の通信を発行し、情報の提供を行っている。
	㉖	個人情報に十分注意しているか。	4			十分に注意し、管理に努めている。
	㉗	障害のある子供や保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	2		相談支援事業所等と連携し、配慮に努めている。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		毎年11月に秋祭りを開催し、地域住民へ宣伝し、招待をしている。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。		3	1	各マニュアルは策定し、職員には周知しているが、保護者向けに周知出来ていないため、急ぎ周知したい。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	2	2		年2回の避難訓練を実施している。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応しているか。	2	2		虐待防止研修会の参加や、事業所内でも研修を行っている。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	2		十分に説明し、個別支援計画書に記載している。
	㉝	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		必要あらば医師の指示書を基に対応したい。
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	4			ヒヤリハットも毎日の記録を行い、共有している。